

## 戦国の合戦

平成24年 7月25日(水)～9月30日(日)

京都を舞台に勃発した応仁の乱(1467～77)は、全国を争乱に巻き込み、時代は戦国へと突入します。16世紀中頃になると合戦は広域化し、織田信長の天下統一への動きとともに加速していきました。豊臣秀吉と徳川家康とが争った小牧・長久手の戦いや関ヶ原の合戦は、全土を二分する合戦として展開されました。合戦の大規模化は、その様式とともに甲冑や武器にも大きな変化を及ぼしていきました。合戦での武具と共に、信長・秀吉・家康の巨大化した合戦を紹介します。

展示期間 A:7月25日(水)～9月2日(日)・B:9月4日(火)～9月30日(日)

作品名・作者・所用者	時代	世紀	展示期間	所蔵者
<b>桶狭間の戦い</b>				
1 織田信長画像(模本 原本 豊田市長興寺蔵)	桜井清香模写	昭和	昭和11年<1936>	A
2 桶狭間図		江戸	18-19	
3 絵本太閤記 一編之六 武内確斎作・岡田玉山画	84冊の内	江戸	寛政9年<1797>	
<b>姉川の戦い</b>				
4 徳川家康書状 佐久間正勝・佐々一兵衛尉宛 十一月廿六日 深溝松平家伝来	室町	元亀2年<1571>	18-19	
5 姉川御合戦図	江戸			
<b>三方ヶ原の戦い</b>				
6 武田信玄書状 朝倉義景宛 (「芳墨拾遺」八巻所収)	室町	元亀3年<1572>		
7 武田信玄朱印状 越陣(朝倉義景)宛	室町	元亀3年<1572>		
8 徳川家康三方ヶ原戦役画像(模本) 桜井清香模写	昭和	昭和13年<1938>		A
9 徳川家康三方ヶ原戦役画像 聖聡院從姫(9代嫡子治行夫人)所持	江戸		17	B
<b>長篠の戦い</b>				
10 武田勝頼判物 飯尾助友宛 (「芳墨拾遺」六巻所収)	桃山	天正2年<1574>		A
11 長篠合戦図屏風 六曲一隻	江戸	18		A
12 火縄銃 六匁筒 筒 マリア像・唐草文象嵌	東南ア <sup>7</sup> ア	16-17		
13 火縄銃 六匁筒 筒 人物面(ア <sup>7</sup> D)・唐草文象嵌	東南ア <sup>7</sup> ア	16-17		
14 安土記 太田牛一著	江戸	17-18		
15 信長記 小瀬道喜著	江戸	17		
	徳川義直(尾張家初代)蔵書			
16 三河物語 大久保彦左衛門著	江戸	17		
17 甲陽軍鑑	江戸	万治2年<1659>		
<b>賤ヶ岳の戦い</b>				
18 志津嶽合戦図	江戸	18		
19 平三角大身鎗 銘 兼上 片桐且元所持 片桐家寄贈	室町	16		
<b>小牧長久手の戦い</b>				
20 豊臣秀吉画像(模本 原本 一宮市妙興寺蔵) 桜井清香模写	昭和	昭和11年<1936>		A
21 豊臣秀吉画像(模写)(原本 宇和島伊達家蔵) 徳川正子(尾張家20代義知夫人)筆	昭和	20		B

	作品名・作者・所用者	時代	世紀	展示期間	所蔵者
22	太刀 銘 則宗作 豊臣秀吉所持	鎌倉	13		
23	梨子地桐紋蒔絵太刀鞘(22太刀 備前国則宗附属) 伝豊臣秀吉所持	桃山	16		
24	長久手合戦図屏風 徳川家康書状	江戸	18		B
25	遠山佐渡守・遠山与助・遠山半左衛門尉宛 三月廿三日	桃山	天正12年<1584>		B 個人蔵
26	小牧陣立書 豊臣秀吉花押	桃山	天正12年<1584>		
関ヶ原の戦い					
27	徳川秀忠書状 松平忠吉宛 八月二日	桃山	慶長5年<1600>		
28	徳川家康書状 堀直寄宛 九月朔日	桃山	慶長5年<1600>		
29	関ヶ原合戦図屏風 田安德川家伝来 二曲二双の内	江戸	19		
30	関ヶ原合戦絵巻 田安德川家伝来 4巻	江戸	19		
31	纏「直鋒」 松平忠吉(徳川家康4男)所用	桃山	16		
32	銀箔置白糸威具足 松平忠吉(徳川家康4男)所用	桃山	16		
33	網代軍配団扇 徳川家康所用	桃山	16-17		A
34	網代軍配団扇 徳川綱誠(尾張家3代)所用	江戸	17		B
35	陣太鼓 徳川家康所用	桃山	16-17		
36	松平忠吉家中関ヶ原合戦功名人名録折紙 関山真一氏寄贈	江戸	17-18		
37	濃州岐阜河越合戦図	江戸	18-19		
38	太刀 銘 国俊 名物 鳥養国俊 石田三成所持 重美	鎌倉	13		
39	短刀 銘 吉光 名物 庖丁藤四郎 大谷吉継所持 重美	鎌倉	13		
40	太田和泉守記 太田牛一自筆		慶長12年<1607>		
41	濃州関ヶ原合戦之聞書	江戸	18		
42	おあん物語 山田去暦女著	江戸	19		
大坂の陣					
43	大坂冬陣備立之図	江戸	17-18		
44	大坂夏陣図	江戸	17-18		
45	夏大坂合戦之図	江戸	18-19		
46	大坂夏の陣図(模本)	江戸	弘化3年<1846>		A
47	板倉勝重書状 江戸幕閣宛	江戸	慶長20年<1615>		B
48	大坂御陣行軍附	江戸	18		
49	金箔押瓦破片(丸瓦) 大坂城青屋口堀外出土	桃山	16		
50	慶長十九年十一月大坂御陣之御供之帳 稲垣家寄贈	江戸	慶長19年<1614>		
51	大坂首帳 稲垣家寄贈	江戸	17		
52	平岩七之助(親吉)家中之者共討捕頸注文 稲垣家寄贈	桃山-江戸	16-17		
53	御年譜	江戸	17		
54	冬夏事記 5冊の内	江戸	18		
55	松明 徳川家康所用	桃山	16-17		
56	錐形兜 徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17		
57	三枚張黒塗兜 伝徳川義直・松平義真(梁川家3代)着用	江戸	17		
58	短刀 銘 相州住正宗 嘉暦三年八月日 名物 大坂長銘正宗 徳川家康所持(駿府御分物)	鎌倉	嘉暦3年<1328>		
59	刀 銘 以南蛮鉄於武州江戸越前康継 慶長十九年八月吉日 重美	江戸	慶長19年<1614>		
60	葵紋付纏 徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17		
61	白旗・葵紋付吹流 5面の内 同上所用	江戸	17		
62	白・嘉珍小旗 10旒の内 同上所用	江戸	17		

以上

出品リストの番号は、展示順を示していません。  
印は名古屋市蓬左文庫の所蔵品であることを示します。  
所蔵者の記載のない作品は全て徳川美術館の所蔵です。  
重美は重要美術品を示します。